

消化酵素

ペプシンとキモトリプシン

キモトリプシンの途中で話が終わったと思う。

キモトリプシンの基質特異性

芳香族系や***?のカルボキシル末端で切断する。

活性中心はセリン195といました。

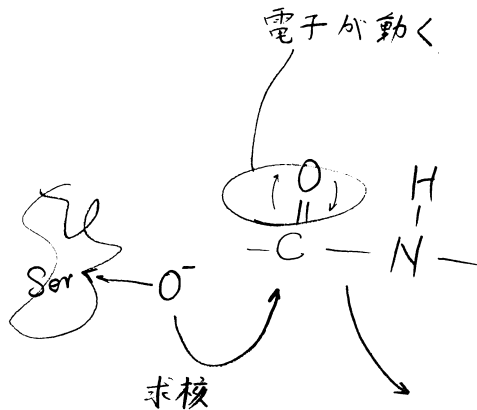
セリンはOH基を持っています。

OH基ノ部分でペプチド結合を切断する。

OHではペプチド結合を着ることはできません。

Oマイナスの状態で攻撃する。

活性中心となるアミノ酸別に、プロテアーゼを挙げる



Cys の場合、
S⁻ で同じ求核攻撃

1. Ser

キモトリプシン

2. Cys

パパイン

3. Asp

ペプシン

消化酵素

キモシン(カイモシン、レンニン(Rennin))

チーズの凝乳酵素として、日本の学者がカビから作った

レンニン(Renin)

HIVプロテアーゼ

長さが他のに比べて半分くらい

同じタンパク質のにりょうたいになっている。

4. 金属

サーモリシン

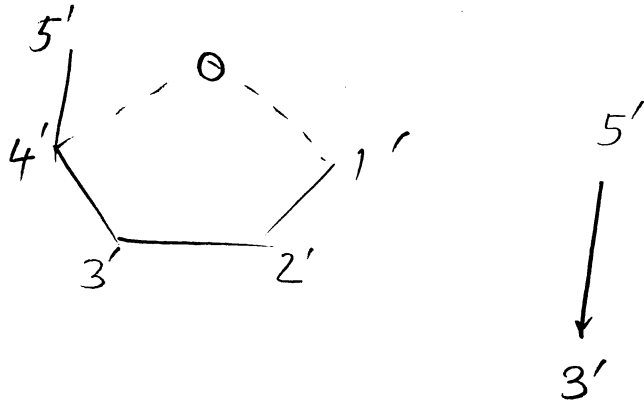
核酸

デオキシリボヌクレオチドが連なったもの

塩基(base)

糖(sugar)

リン酸基(phospho group)



DNAは一種のポリマーだから、吸収スペクトル